

委員会レポート

幅員20mの車道・歩道工事完了

幸田・三ヶ根駅前
整備特別委員会

2月7日 協議会開催

幸田駅前土地区画整理事業
業道芦谷蒲郡線、JR幸田駅前交差点から東に延長77・4m、車道・歩道の幅員20m、道路築造工事が完了。

都市計画道路芦谷高力線東側部分の電線共同溝工事は、駅前交差点から南へ延長94・6mが完了。さらに南へ延長97・4mの工事進捗状況は75%。
1街区（旧床屋から肉屋



進む電線共同溝工事（幸田駅前）

のあった区域）の整備工事は完了し、専用住宅・店舗兼住宅など建築の予定。

Q 電線共同溝に電力線・通信線などの入線時期は。

A 道路工事すべてが完了し、電柱が抜ける状態、平成32年度末の予定。

Q 駅前銀座の店舗状況は。

A 現在すべての店舗が埋まり、経営も順調。
Q 駅前の駐輪場整備は。

A 新年度予算の中で、進めていく。

地方創生
特別委員会全国初の一般
公道を自動走行

2月6日 協議会開催

幸田町まち・ひと・しごと創生総合戦略

低温プロセスマ技術深化事業
名古屋大学では、農業応用技術の特許を申請中。

Q トマトでの機能性とは。

A 抗酸化値の向上で、高付加価値化につながる。
自動運転実証実験（愛知県事業）

全国初の遠隔型自動運転システムの実証実験を一般公道で実施した。

Q 3D地区の利活用は。

A ダイナミックマップ基盤（株）と協定を締結し、利

活用について検討中。

企業内敷地、スーパーの敷地などで実験が可能に。

幸田町IoT推進ラボ運営会議1回、企業向けセミナーを3回開催した。

企業立地の状況

須美前山地区 企業庁のホームページに開発検討地区として掲載。

須美東山地区 開発行為許可申請書を提出。開発者は中村精機株式会社。

長嶺東山地区（仮称）長嶺東山開発推進協議会設立。



自動運転でスーパーの敷地内を走行（カメラガーデン）

議員研修会

地方議員の役割と 議会改革の動向・課題

2月1日 開催

幸田町議会は「地方議員の役割と議会改革の動向・課題」をテーマに、山梨学院大学法学部大学院研究科長、江藤俊昭氏を講師に議員研修会を開催した。

① 議員の役割

住民に開かれ住民参加を促進し、首長とも切磋琢磨し、議会の存在意義である議員同士の討議と議決を重視する議会に。

② 議会改革の動向

住民自治を進める議会基本条例の制定であり、活動の視点は住民福祉

の向上。

③ 新しい議会の条件整備

効率性を重視する行政改革の論理と地域民主主義の実現に向けた議会改革の論理を認識して。

④ 議会改革の課題

政治や行政への参加による実感ある年代を超えた市民教育を推進し、住民自治につなげることに。

他市町の先進事例を紹介され、地方政治の負の連鎖を断ち切り、正の連鎖に向かう方向への取り組みの必要性を感じた。



講演する江藤氏



熱心に研修を受ける

一般質問 追跡

あの答弁は
どうなったの！

平成28年6月定例会

水野千代子議員

子育て世代包括支援センターを

問

今以上に相談体制など充実させるために、子育て世代包括支援センターの推進を。

答

国、県の状況を見ながら近隣の妊娠・出産の包括支援に関する状況を確認し、実現の方角で検討する。

その後

平成30年度から、相談窓口を開設する。

平成29年6月定例会

稲吉 照夫 議員

幸田駅前駐輪場整備を

問

幸田駅周辺に自転車専用レーンの設置と駅前駐輪場の整備を。

答

自転車通行帯の標示を県に働きかけていき、電線の地中化工事

が終了した段階で、再整備をしていく。

その後
平成30年度予算で、屋根付駐輪場の設置費が計上された。

平成29年6月定例会

水野千代子議員

ヘルプマーク入りカードの導入を

問

ヘルプマークの入ったヘルプカードの導入を。

答

周知も合わせ、利用できるように普及に努めたい。

その後

平成30年6月頃から配布の予定となる。

